# ちょっと昔の道具たち

発行　NPO法人歴史文化財ネットワークさんだ
連絡先　三田ふるさと学習館
〒669-1532　三田市屋敷町7-33
電話　FAX　079-563-5587
令和元年11月発行

## 昔の学校

### ◎　教科書

教科書は明治のころより使われました。しかし、今より小さいサイズです。

### ◎　鐘

授業や休み時間を知らせるのに職員さんが鳴らしてしらせました。

### ◎ランドセル

ランドセルは高価なものだったので風呂敷や、掛け鞄の子もいました。昔のランドセルは今より小さく赤と黒の2色でした。

## 米つくりの道具

### ◎千歯こき

上から歯のところに稲束をたたきつけて引っ張ることで、稲穂から籾がとれました。これを脱穀といいます。籾は殻付きの玄米です。

### ◎　脱穀機

足でペダルを踏むと針金のついたローラーが回転します。回転するローラーの上に稲束を置くと稲穂からモミが取れます。脱穀機のほうが千歯こきより、効率よくモミが取れました。

### ◎　唐箕

ハンドルを回して風をおこしながら、玄米と、もみ殻、塵などに分ける農機具です。

### ◎万石通し

玄米から小米を取り除く農機具です。

米つくりもいろんな道具を使うね

# あかり

## ◎火打石　火打ち金

火打石は石英を含む石です。石と鉄片を打ち合わせて 火をおこします。

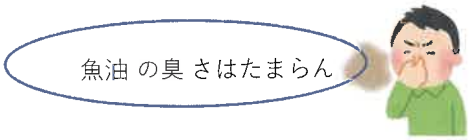
火打ち金は昔は農具の破片などが使われていました。

## ◎行燈

燈明皿

**燈明皿に油を入れて灯芯に火をつけてあかりをつけました。**

菜種油や魚油を使っていました。菜種油は高価なものでしたので、安い魚油を使ったりしました。




## ◎　蝋

- **木蝋**＝ウルシやハゼの実から作られます。
- **白蝋**＝木蝋を日光でさらしたものです。
- **蜜蝋**＝ミツバチの巣を作るロウを精製したものです。
- **パラフィン**＝石油精製品

## ◎ろうそく

### ○和ろうそく

### ○洋ろうそく

奈良時代に蜜蝋のろうそくが仏教伝来とともに中国から入ってきました。とても高価で一般に使われませんでした。

**和ろうそく**

木蝋で作られています。日本で作られたろうそくです。

**炎が大きくて**風が少々吹いても消えにくいです。

**洋ろうそく**

石油精製品のパラフィンで作られています。

和ろうそくより炎 が小さいですが、炎はあかるいです。

黒いすすがよく出ます。

## ◎提灯

中にろうそくをたてて火をつけて使います。

持ち運びができるので外出にも使いました。　紙を張りそこにろうそくを立てた竹かご提灯がはじまりです。

現在はお祭りなどに使われています。

| | |
|---|---|
| ◎がんどう<br> | **銅やブリキで作り釣り鐘型になっています。中のろうそく立ては、自由に回転し傾けても、ろうそくの火が消えない工夫がされた灯火機です。**<br>現代の懐中電灯と役割が同じです。 |
| ◎ランプ<br> | **灯油を燃やしてあかりを灯しました。主に部屋の中で吊り下げて使いました。**灯油の煙でホヤ（ガラスの筒）が黒くなるので毎日掃除をしました。 |
| ◎ **電球**<br> | 三田にはじめて電気がついたのは明治43年のことです。<br>三田の駅前裏付近に発電所がありました。<br>**今の時代はLEDの電球**が使われています<br> |

## 穀類を粉にしたり、ついたりするもの

| | |
|---|---|
| ◎**焙烙**<br> | **素焼きの土鍋の一種。　火のあたりがやわらかいので、ごまや豆、お茶をいります。** |
| ◎**石臼**<br> | **石臼は上臼と下臼をすりを合わせて大豆、米、茶などを粉にするのに使います。**<br>食品のコクやウマミをひき出 すことができます。 |
| ◎**臼と杵**<br> | **餅をつきます。**昔は蒸した大豆をつぶして味噌を作る時も使いました。 |

# 洗濯

### ◎ たらいと洗濯板

洗濯板は明治の初め外国から伝わりました。洗濯物をギザギザにこすりつけ汚れを落としました。洗濯板がない時代は、洗濯物は踏んだり手でもんだりしていました。

### ◎ 脱水ローラー

2本のローラーの間に洗濯物を入れ、ローラーを回すことで水を絞ります。初期の洗濯機についていました。

### ◎ 伸子針

布や反物を洗い張り、または染色するとき布幅 を一定にするための道具です。反物の巾より長い竹棒の両端に針が埋め込まれています。

### ◎ 伸子張り

伸子針を数cmくらいの間隔で張り、裏返し糊をつけます。乾くとしわがないので、すぐに着物に仕立てられます。

### ◎ 火のし

丸い部分に炭火を入れて底が熱くなれば、布にあててしわを伸ばします。初期のアイロンです。

### ◎ 炭火アイロン

胴体のところに炭火を入れると底が熱くなって使います。火加減を調節するため空気穴や煙突がついています。

### ◎ こて

火鉢の中の炭火の灰の中にこて先 を入れて熱くして使います。着物を縫う時、細かい部分に使いました。

### ◎ 洗い張り板

着物を解き洗濯して、のり付けをして張り板に張りしわをのばす道具です。乾くと板からはがして、着物に仕立てます。

### ◎電気アイロン

電気で熱を発生させる。

エジソンが発明した。